

◆川柳

シエイクスピア川柳

(ロミオとジュリエット)

純潔の鎧を恋の矢突き抜けてず

短剣は我と苦悩の仲裁役

太陽と鳥に追はれし別れかな

死神が花の乙女を寝取りけり

人心を腐らせるのは金の毒

安原明

(高7回)

●やすはら・あきら

飯田市出身。45年間のサラリーマン生活を終え、ゆとりが出来たため、日常の生活を記録することも狙って、俳句と川柳を始めた。市民大学で「シエイクスピアの世界」講座を毎年聴きながら、名セリフなどを基にして感じたまま川柳にしている。歳のかき昔読んだシエイクスピアとは一味違う味わいがある。

変わらぬ癖

逃げ水の向こうに見える捕虫網

汗かきと寒がりか居てひとつ屋根

変わる貌かお変わらぬ癖との朋友見つけ

クレヨンにない色もある眼のウロコ

涙腺が人情晰恋しがる

宮下恭一

(高18回)

●みやした・きょういち

柳号一穂(いっほ)。飯田市大通り出身。川柳歴としては還暦をきつかけに、六十の手習い、といつて川柳入門し、今年古希を迎えております。師は尾藤一泉氏。自らの心の内面を吐露する創作川柳を目指し、人生を歩んでいきたいと思っています。苦吟している時が実は癒しの時と。いうこのアイロニーが大変楽しい！

亡き母の方言川柳

嬉しいなあはあるかぶりのお参りで

お父ちゃんもおばあまたちも達者だに

お茶だけでそうずらああだら日が暮れて

らんごくにしとるでルンバ買ってきて

あんじゃあないリニアに乗ってからおいな

下島明

(高19回)

●しもじま・あきら

柳号・下島迷犬。川柳歴は浅いが、一時浅草仲見世通り商店街主催のインターネットコーナーで、一般公募の「仲見世時事川柳」の選考に協力。母は秋田県生まれだが、父の従軍、シベリア抑留で、幼い兄と姉を連れて父の実家の飯田へ。突然の大家族と未知の飯田にすっかりとけ込み、飯田の土となった。